

# 令和7年12月 第2回入善町議会定例会 代表・一般質問要旨（発言順）

令和7年12月3日（水）議運決定

〔質問日 12月10日（水）〕

## ■代表質問

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	中瀬 淳哉 (未来)	<p><b>（１）第7次総合計画後期計画について</b></p> <p>① 来年度から第7次総合計画の後期計画がスタートする。人口減・少子化・高齢化である当町の取り巻く環境は非常に厳しい。この現状を踏まえ、次の5年間、どのようなまちづくりをしていこうと計画を立てているのか。</p> <p>② 計画の中の目標人口 23,000 人は後期計画でどう設定するのか。</p> <p>③ 今年度「入善っ子の夢、叶えます事業」を行っているが、その結果はどうだったのか。総合計画に入るような事業は提案されたのか、また総合計画にどのように反映させるのか。</p> <p>④ 役場跡地利用を後期計画の中でどのように位置づけるのか。</p> <p>⑤ 学校の統廃合について、後期計画の中でどのように位置づけるのか。</p>	①～⑤町長
		<p><b>（２）新年度予算について</b></p> <p>① 第7次総合計画の後期計画をどのように予算に盛り込んでいくのか。</p> <p>② 令和8年度予算の財源の見通しはどうか。</p> <p>③ 行財政改革の観点から行政のデジタル化やDX 化をさらに図っていくことが急務だと考える。令和8年度予算ではどのようなことを盛り込むのか。</p> <p>④ 体育館のエアコンについて予算化されるのか。また、特別教室棟のエアコンについても予算化すべきだと考えるがどうか。</p> <p>⑤ 介護施設への支援を予算化すべきだと考えるがどうか。</p> <p>⑥ 物価高騰時ではお金の価値が下がっており、すなわち町の補助金の価値も下がっていると言わざるを得ない。地域コミュニティの維持などにおいて負担が増大しているが、町の補助金のあり方について新年度予算ではどのように考えているのか。</p> <p>⑦ 国の総合経済対策と連動し、中小企業・小規模事業者に対しての支援を行っていくべきだと考えるがどうか。</p>	①～⑦町長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
2	佐藤 一仁 (自民清流会)	<b>(1) 学校体育館の空調設備設置の具体的計画について</b> ① 12月議会に363万円の予算が計上された学校屋内運動場空調整備計画策定業務の事業内容を問う。 ② この事業を開始すると同時に、整備完了年度の設定も大切だと考える。当局は何年度の整備完了を目指しているのか。 ③ 整備方法はガスまたは電気による整備が考えられる。どの方式を考えているのか。また、災害時の発電設備はどうするのか。 ④ 町内の小中学校8校の同時整備を目指すべきだが、当局の考えを問う。8校同時が不可能な場合の順序はどうするのか。 ⑤ この整備事業では国の交付金を見込むことになると思うが、用途はついているか。 ⑥ 整備に際して応分の財政負担が必要になると思うが、町財政への影響はどの程度になると考えているか。	①～⑥町長
		<b>(2) 米の産地特有の新しい入善町づくりについて</b> ① JA みな穂が農家に渡す概算金が米60kg26,000円と聞いている。5kg約2,170円になるが、この金額に諸費用等を含め5kg3,000円程度で入善町民に限り購入できるシステムをJAと協力してつくって、町づくりの新しい目玉にしたいかがか。	①がんばる農政課長
3	松田 俊弘 (日本共産党)	<b>(1) 地域経済について</b> ① 10月の消費者物価指数は前年同月比3.0%増で50カ月連続の上昇が続いている。一方で10月の実質賃金は1.4%の減で9カ月連続の減少となっている。町内企業の実質賃金の実態はどうか。 ② 町内では自動車関連の企業が複数あるが、トランプ関税の影響はどうか。 ③ 2025年の食品値上げ品目数は、前年比64.6%増で2万品目を超えたとのことだ。物価高で四苦八苦している住民への支援を継続し、特にひとり親世帯や住民税非課税世帯などへの経済的支援を強化すべきだ。	①～③町長
		<b>(2) 農業について</b> ① 石破内閣ではコメの増産を打ち出したが、高市内閣では「需要に合わせた生産」と事実上の減反政策に戻ってしまった。国民の命を支える農業政策がコロコロと変えられてよいのか。	①～③がんばる農政課長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
3	松田 俊弘 (日本共産党)	② 令和の米騒動の最大の原因は、需要ぎりぎりの生産しか行なってこなかったところに、高温による不作とコロナ禍明けの需要拡大でコメ不足になったからだ。「需要に合わせた生産」は同じ轍を踏む可能性があると考えerがどうか。	(②～③が <b>ん</b> <b>ばる</b> 農政課 長)
		③ 「需要に合わせた生産」はコメ余りで米価が暴落するのを避けるためだが、米価が下落したときは欧米のように再生産が可能な農家への所得補償が必要だ。そのことが安定した供給と価格につながると考える。こうしたことを国に言っていくべきではないか。	
		(3) 杉沢について ① 杉沢の管理には、専門家を含めた管理委員会を設けて継続的に行うべきだ。 ② 国指定の天然記念物なのだから、管理に必要な予算を国に求めているべきだ。	①②教育委員会事務局長
		(4) 自衛隊の旧庁舎での訓練中止について ① 当局は 10 月末に、自衛隊から旧庁舎で救助訓練を行いたいと申し入れがあったので、利用を許可したと議会に説明していたが、その後突如、訓練は中止になったと議員に報告があった。中止になった理由と経過はどうか。	①総務課長

## ■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	飯田 朱美 (一括方式)	(1) 公共施設の多機能的な活用推進について ① 町内に「集いの場」や「学習・ワークスペースの環境」が不足しているという現状について、町の見解を問う。 ② 図書館に、Wi-Fi、電源タップ、カフェスペースなど、若者が居心地よく利用できる環境が整った自習・ワーク専用エリアを整備してはどうか。 ③ 健康交流プラザサンウェル、うるおい館、町民会館にパーテーション、Wi-Fiなどを設置し、女性や子育て世代にとって集いやすく、隙間時間の学び、地域活動しやすい、心地よい空間を整備してはどうか。	①～③町長
		(2) 5 歳児健診と作業療法士の参入について ① 幼児期の集団特性、発達の遅れが小学校以降の不登校や学習障害に繋がる可能性をどう認識し、どのような対応をしているか。	①教育委員会事務局長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	飯田 朱美 (一括方式)	② 5歳児健康診査を実施する考えはあるか。作業療法士など他職種の参画について見解を問う。 ③ 飛騨市など、全国で保育所や小中学校、学童保育に作業療法士を配置したり、巡回訪問したりする市町村が増えているが、現地視察を行うなど検討してみてはどうか。	②③元気わくわく健康課長
5	三賀 喜久美 (一括方式)	(1) 本庁からの各地区への出張相談について ① 申告相談など本庁舎以外での出張相談の現状はどのようになっているのか。あわせて現行の体制における課題はあるのか。 ② 各地区によって抱える課題やニーズは異なると考えるが、それらをどのように把握し町民の声を反映しているか。 ③ 高齢化が進む中で、住民サービス向上としての各地区で様々な出張相談などを実施する考えはないのか。	①～③総務課長
		(2) 入善町の芸術文化の振興、文化行政について ① 「文化資料館」取り壊し後の資料の保管展示は現在どのようになっているか。 ② 寄贈された古文書等の解読の進捗状況と古文書解読者の後継者育成計画はあるのか。 ③ 町所蔵美術品の展示はどのように行っているのか。 ④ 下山芸術の森発電所美術館にエアコンの設置予定はあるのか。	①～④教育委員会事務局長
		(3) 役場職員の人手不足対策と行政サービスへの影響について ① 職員数の推移と人員配置における不足状況と人員確保対策について。 ② 職員の働きやすい環境整備対策について。 ③ 人手不足による行政サービスへの影響と対策について。	①～③町長

〔質問日 12月11日（木）〕

■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	井田 義孝 (分割方式)	<b>(1) 防災について</b> 県は長野県が行った「イタリア式避難所設置訓練」の中核となる災害中間支援組織を令和8年度に立ち上げるために動いている。今後は広域支援を視野に入れた防災の在り方が求められてくる。 ① マットレスやテント型間仕切り、食料、発電機など避難所の資機材を抜本的に充実させるべきだ。毎年計画的に購入していくとの事だが、避難所の資機材をここまで揃える、という目標はあるのか。 ② 防災の観点からも10年間行っていない空き家実態調査を行い、危険な空き家は町の責任で解体すべきだ。 ③ 町主導で地区ごとに津波、洪水の避難ルートや避難手順の確認など実践的な訓練を行うべきだ。 ④ 防災士を中心とした自主防災組織づくりを全町的に広げるべきだ。	①③④総務課長  ②町長
		<b>(2) 学校給食の無償化について</b> ① 国は2026年に学校給食の無償化を計画しているが、入善町でも無償化になるのか。	①教育委員会事務局長
		<b>(3) 消雪装置の更新と電気代への補助について</b> ① 消雪装置の更新と電気代について、物価高騰のおり、受益者負担金を引き下げ、各地区の負担を軽減すべきだ。	①建設課長
7	加藤 裕子 (一括方式)	<b>(1) 災害発生時の避難について</b> ① 災害発生時には車で避難者が多く、道路の渋滞が予測されるが、円滑な避難のための推奨ルートはあるのか。 ② 避難行動要支援者名簿は作成されているのか。また、個別避難計画が作成され、関係機関に必要な情報提供は行われているのか。地域の防災訓練で避難行動要支援者の避難誘導訓練も併せて行われているのか。 ③ 福祉避難所の災害物資のストックや人員確保など、受け入れ体制は整っているのか。 ④ 発災時にトイレトレーラーはどのように配置される予定なのか。段差昇降が困難な方の利用は難しいと思われるが、そのような方にはどのように対応するのか。	①④総務課長  ②③保険福祉課長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	加藤 裕子 (一括方式)	<p>(2) 若者の意見を取り入れたまちづくりをするための取り組みについて</p> <p>① 若者がグループワークで町の未来を話し合い、まちづくりに主体的に参加できる取り組みを町として行う考えはあるか。</p> <p>② 若者にまちづくりに参画してもらう取り組みとして、例えば高校生や大学生、専門学校生らとコラボレーションするなど、現在実施されている事例はあるか。また、今後取り組む予定はあるか。</p>	①②町長
		<p>(3) 不登校の児童生徒の対応について</p> <p>① 不登校児童生徒やその保護者に対し、入善町の公的並びに民間の支援としてどのような学習・生活支援があるのか。それらはどのように本人・保護者に情報提供されているのか。</p> <p>② 現在、入善町にはフリースクールや学びの多様化学校がないが、このような学びの場を希望された場合はどのような支援をしているのか。また、今後設置する意向はあるか。</p>	①②教育長